

# 2017年3月期 決算説明会資料



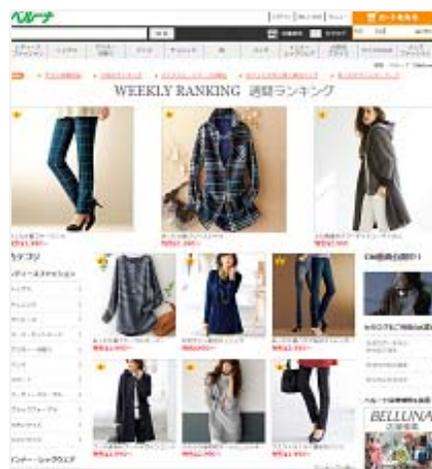
看護師向け通販

「ナースリー」



看護師向け通販

「アンファミ」



通販サイト「ベルーナ」



基幹カタログ「ベルーナ」



大人女子の通販「RANAN」

# ベルーナ

2017年5月26日（金）

1.決算ハイライト	P.2
2.経営方針と取り組み	P.12
3.参考資料	P.28

# 1. 決算ハイライト

---

BELLUNA

1. 決算総括
2. 決算概況
3. セグメント別損益
4. 売上の増減分析
5. 営業利益の増減分析
6. 貸借対照表
7. キャッシュフロー計算書
8. 今期予算について

# 売上高と経常利益は予算オーバー 営業利益もほぼ達成

- 売上高は主力3事業（総合通販・専門通販・店舗販売）が牽引し  
前年比10.9%増
- 営業利益も主力3事業に加え、ソリューション事業が貢献し  
前年比30.1%増
- 経常利益は為替関係損益がプラスに転じたことで前年比71.5%増
- 一方、当期純利益は特別損失計上で予算未達となるも  
前年比では63.7%増

## 1-2. 決算概況

BELLUNA

売上高 ～ 前年比10.9%増で予算オーバー

営業利益 ～ 総合通販事業が牽引し、ほぼ予算達成

経常利益 ～ 為替関係損益がプラスに転じたことなどで予算を大幅に上回る

単位：億円

連結	16/3期	17/3期				18/3期
	実績	予算	実績	予算比	前年比	予算
売上高	1,317.4	1,400.0	1,460.8	4.3%	10.9%	1,600.0
売上原価	592.4	615.6	643.2	4.5%	8.6%	690.0
販売管理費	641.3	674.4	708.8	5.1%	10.5%	780.0
営業利益	83.7	110.0	108.8	-1.1%	30.1%	130.0
営業外損益	-12.6	0.0	13.1	-	-	5.0
(内、為替関係損益)	(-19.6)	-	(+4.2)	-	-	-
経常利益	71.1	110.0	121.9	10.8%	71.5%	135.0
当期純利益	35.4	70.0	58.0	-17.1%	63.7%	88.0

# 1-3. セグメント別損益

売上高 ～ 主力3事業が増収を牽引

プロパティ事業は不動産販売がなかったことで減収

営業利益 ～ 総合通販と専門通販に加えソリューション事業が  
増益に大きく寄与

セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

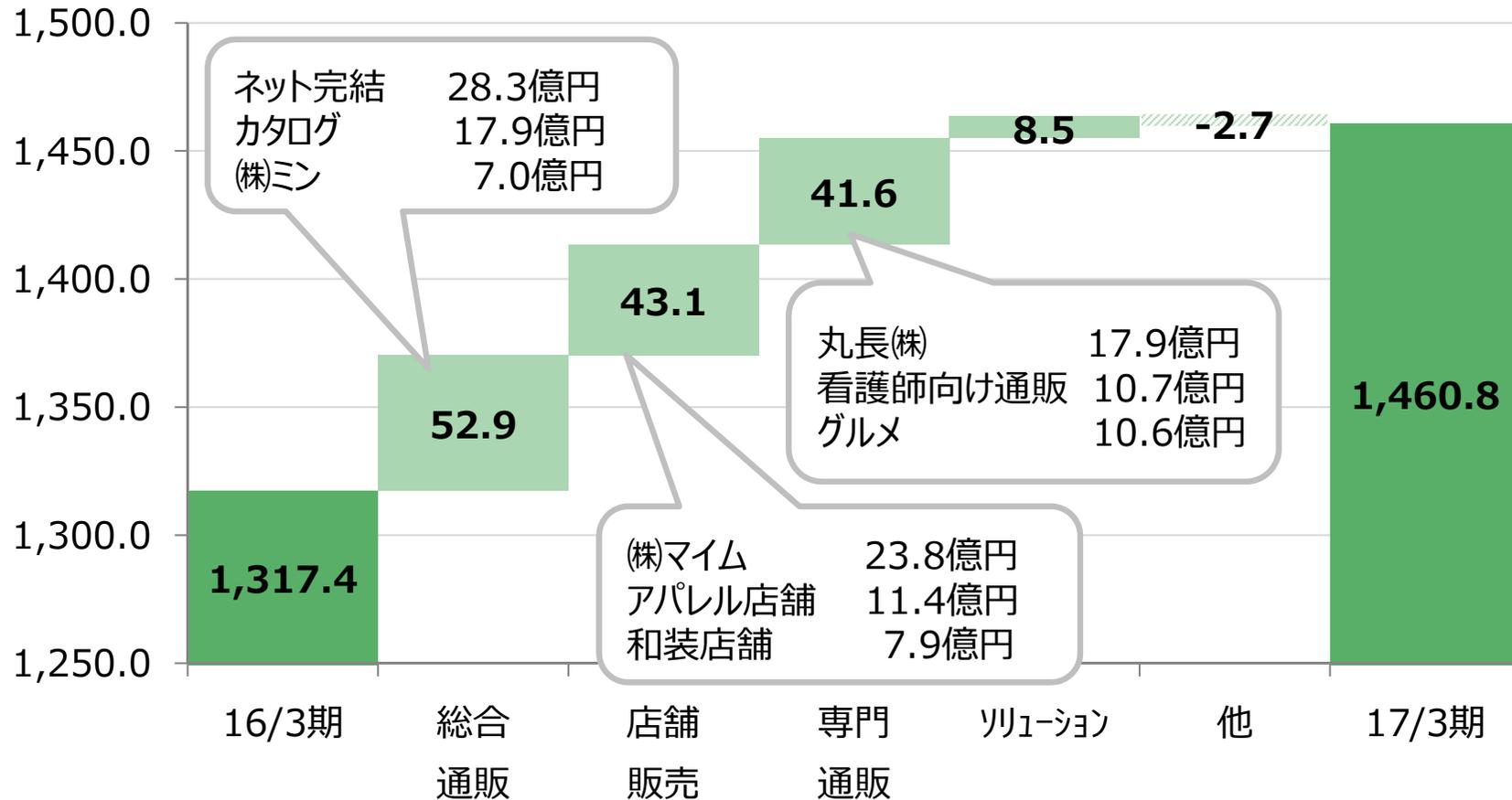
	17/3期								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリュ-ション	ファイナ-ス	プロパ-ティ	その他	連結 消去	計
売上高	752.6	410.0	146.2	54.3	30.9	36.3	36.7	-6.2	1,460.8
前年比(%)	+7.6%	+11.3%	+41.8%	+18.6%	+8.4%	-17.8%	+11.1%	+16.5%	+10.9%
予算比(%)	+2.3%	+1.5%	+14.5%	+8.6%	-0.2%	-32.5%	-0.5%	-84.4%	+4.3%
営業利益	44.7	27.5	4.9	24.2	11.8	0.1	-1.5	-2.9	108.8
前年比(億円)	10.9	12.5	2.9	4.3	2.2	-6.4	-0.2	-1.0	25.2
予算比(億円)	7.2	1.2	0.1	2.2	0.3	-10.6	-0.5	-1.1	-1.2
営業利益率	5.9%	6.7%	3.4%	44.5%	38.1%	0.3%	-4.0%	47.5%	7.4%

# 1-4. 売上の増減分析

ネット通販や看護師向け通販が好調であったことに加え、(株)マイムや丸長(株)などの新規取得会社が寄与し、主力3事業が増収を牽引

売上高の増減要因

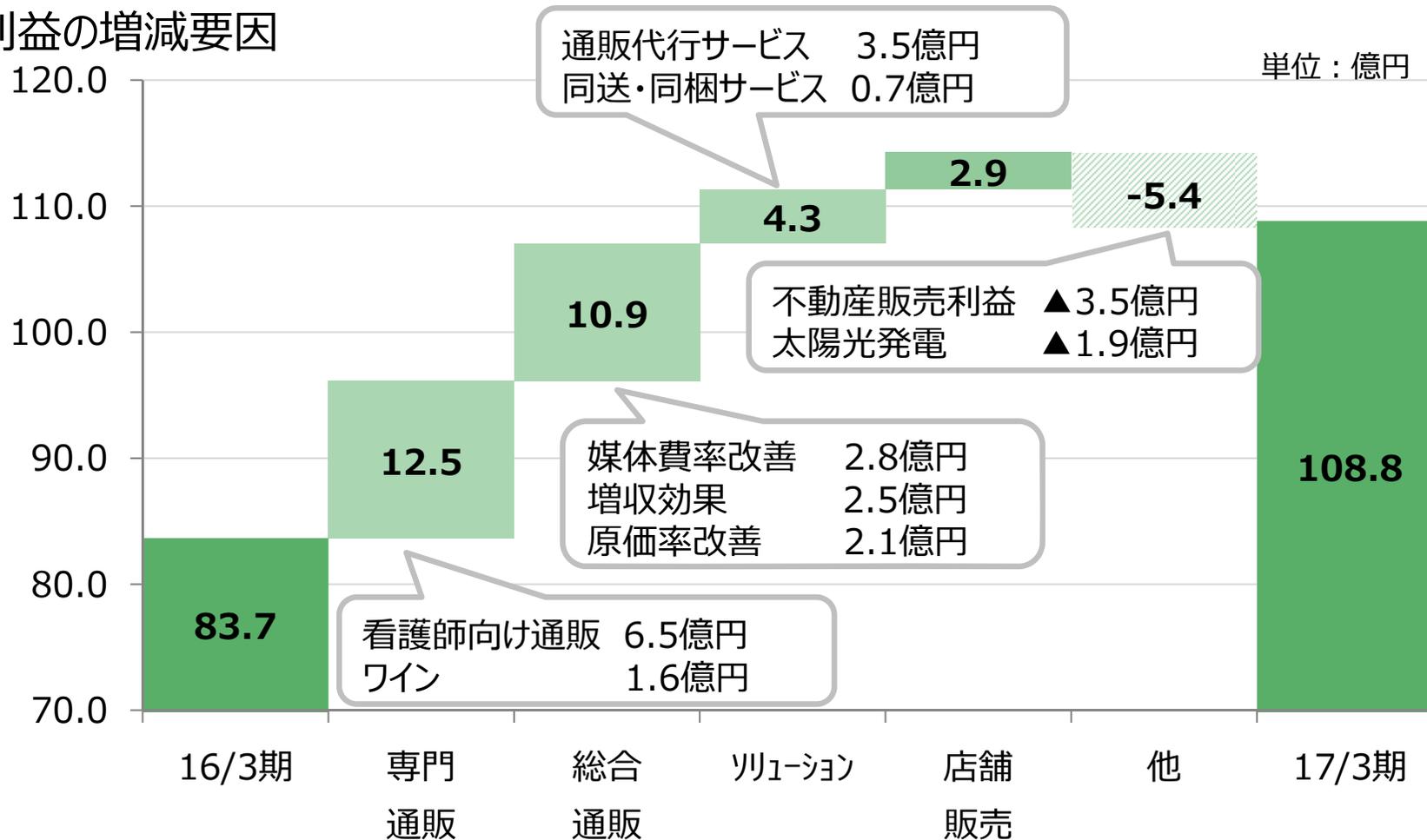
単位：億円



# 1-5. 営業利益の増減分析

専門通販は主に看護師向け通販が、総合通販は媒体費率の改善や増収効果などで、ソリューションは通販代行サービスが増益に寄与

営業利益の増減要因



## 1-6. 貸借対照表

BELLUNA

資産では仕掛販売用不動産に加え有形固定資産などが増加  
これに伴い負債では有利子負債などが増加

	16/3末	17/3末	増減額	単位：億円
流動資産	741.9	847.9	106.0	
現金及び預金	194.8	201.8	7.0	
仕掛販売用不動産	41.7	103.0	61.2	
固定資産	868.7	942.3	73.6	
有形固定資産	594.6	642.6	48.0	
無形固定資産	83.4	128.8	45.3	
総資産	1,610.6	1,790.2	179.7	
負債	804.1	912.5	108.4	
支払手形及び買掛金	156.3	177.4	21.1	
有利子負債	464.7	520.8	56.1	
純資産	806.5	877.7	71.3	
利益剰余金	684.5	633.6	-50.9	
自己株式	-96.8	-0.0	96.8	
<b>【自己資本比率】</b>	<b>[49.8%]</b>	<b>[47.4%]</b>	<b>[-2.4P]</b>	

# 1-7. キャッシュフロー計算書

BELLUNA

各CFはほぼ前期並みの実績でキャッシュ自体は11.8億円増加

	16/3期 累計	17/3期		単位：億円
		実績	前年比	
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>91.8</b>	<b>82.1</b>	<b>-9.6</b>	
税金等調整前当期純利益	60.3	97.7	37.5	
為替関係損益	31.0	1.1	-29.9	
販売用不動産の増減	-21.0	-46.4	-25.4	
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>-95.0</b>	<b>-99.5</b>	<b>-4.5</b>	
有形固定資産取得による支出	-52.6	-77.3	-24.7	
無形固定資産取得による支出	-12.8	-4.6	8.2	設備投資*1 84.5億円
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>30.6</b>	<b>30.0</b>	<b>-0.6</b>	
長短借入金の変動	48.4	48.9	0.4	減価償却費*2 26.8億円
キャッシュに係る換算差額	-6.0	-0.9	5.1	
キャッシュ増加額	21.4	11.8	-9.6	

\*1: 設備投資額には、ソフトウェアなどの無形固定資産およびリース資産への投資額も含む \*2: 減価償却費には、無形固定資産関連の償却や長期前払費用も含む

## 1-8. 今期予算について

BELLUNA

売上高は経営計画を1年前倒し

営業利益は計画を下回るものの、経常利益は計画通りの予算

単位：億円

連結	16/3期		17/3期		18/3期	
	予算	実績	予算	実績	予算	前年比
売上高	1,300.0	1,317.4	1,400.0	1,460.8	1,600.0	+9.5%
営業利益	85.0	83.7	110.0	108.8	130.0	+19.5%
経常利益	102.0	71.1	110.0	121.9	135.0	+10.8%
当期利益	67.5	35.4	70.0	58.0	88.0	+51.6%
有利子負債	450~500	464.7	430~480	520.8	530~580	+1.8~11.4%
純資産	850.0	806.5	865.0	877.7	929.3	+5.9%
ROE	8.0%	4.4%	8.1%	7.0%	9.5%	2.5P

## 1-8. 今期予算について

BELLUNA

売上高は主力4事業を中心に伸ばしていく  
また営業利益は総合通販は減益予算となるが、  
残りの3事業が増益を牽引する

セグメント別の予算

単位：億円

	18/3期 予算								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	計
売上高	822.0	454.8	161.2	58.2	34.7	52.5	42.1	-25.5	1,600.0
前年比 (%)	+9.2%	+10.9%	+10.3%	+7.2%	+12.2%	+44.5%	+14.7%	+314.1%	+9.5%
営業利益	40.5	33.5	9.3	24.6	14.0	10.8	0.6	-3.3	130.0
前年比(億円)	-4.2	6.0	4.4	0.4	2.2	10.7	2.1	-0.4	21.2

## 2. 経営方針と取り組み

---

BELLUNA

1. 総合通販事業
2. 専門通販事業
3. 店舗販売事業
4. プロパティ事業
5. 株主還元

## 2. 経営方針 ～外部環境

BELLUNA

経営計画は、外部環境の変化（消費環境の変化やネット社会）に対応

### 外部環境

- 消費マインドの変化
- ネット社会
- 物流環境の変化

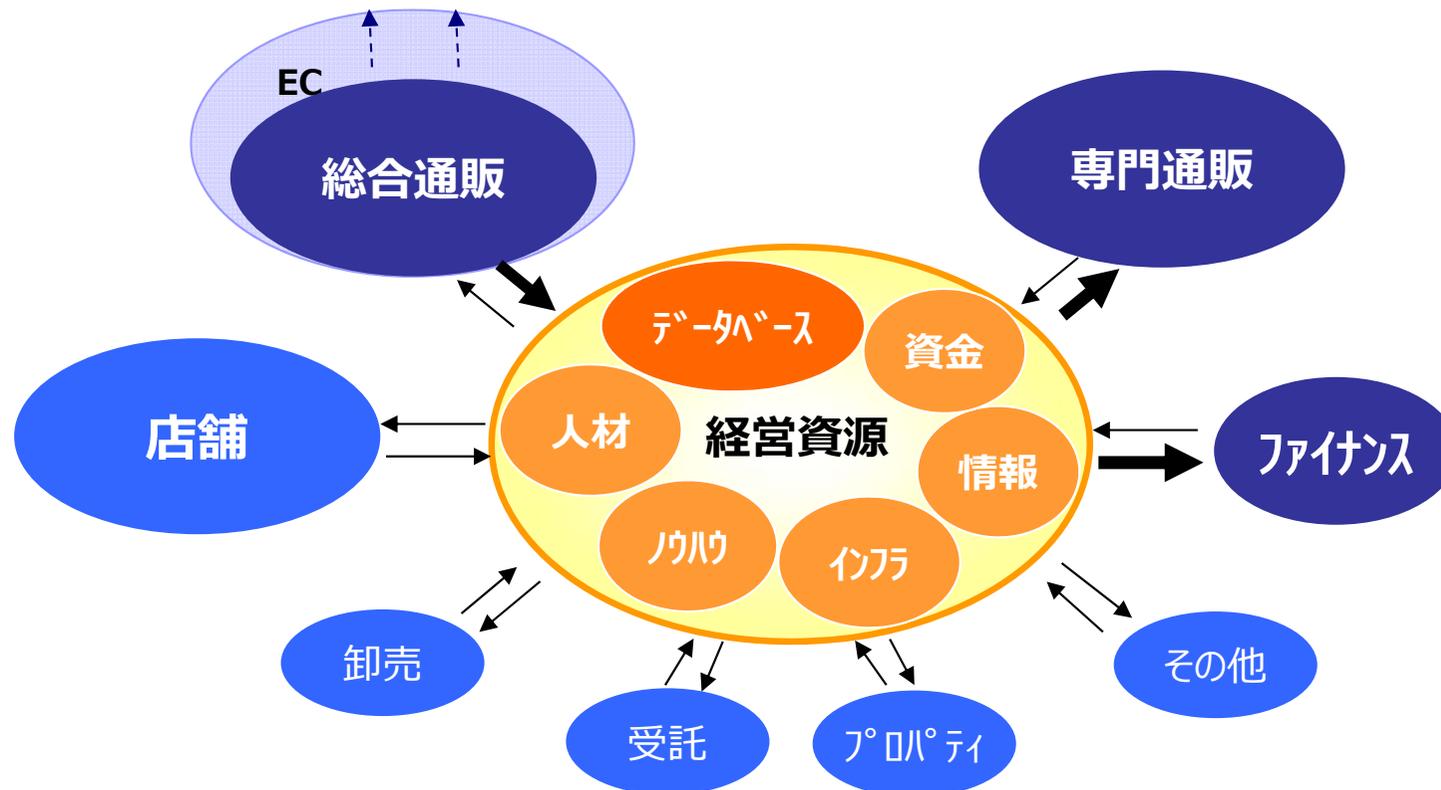
### 内部環境

- ネットの伸長
- 組織体制の変化
- 土壌作り

## 2. 経営方針 ～ビジネスモデル

### ポートフォリオ経営⇒「通信販売総合商社」を指向する

- ①データベースの活用
- ②データベースの活用に関連するビジネス



## 2. 経営方針 ～第三次経営計画

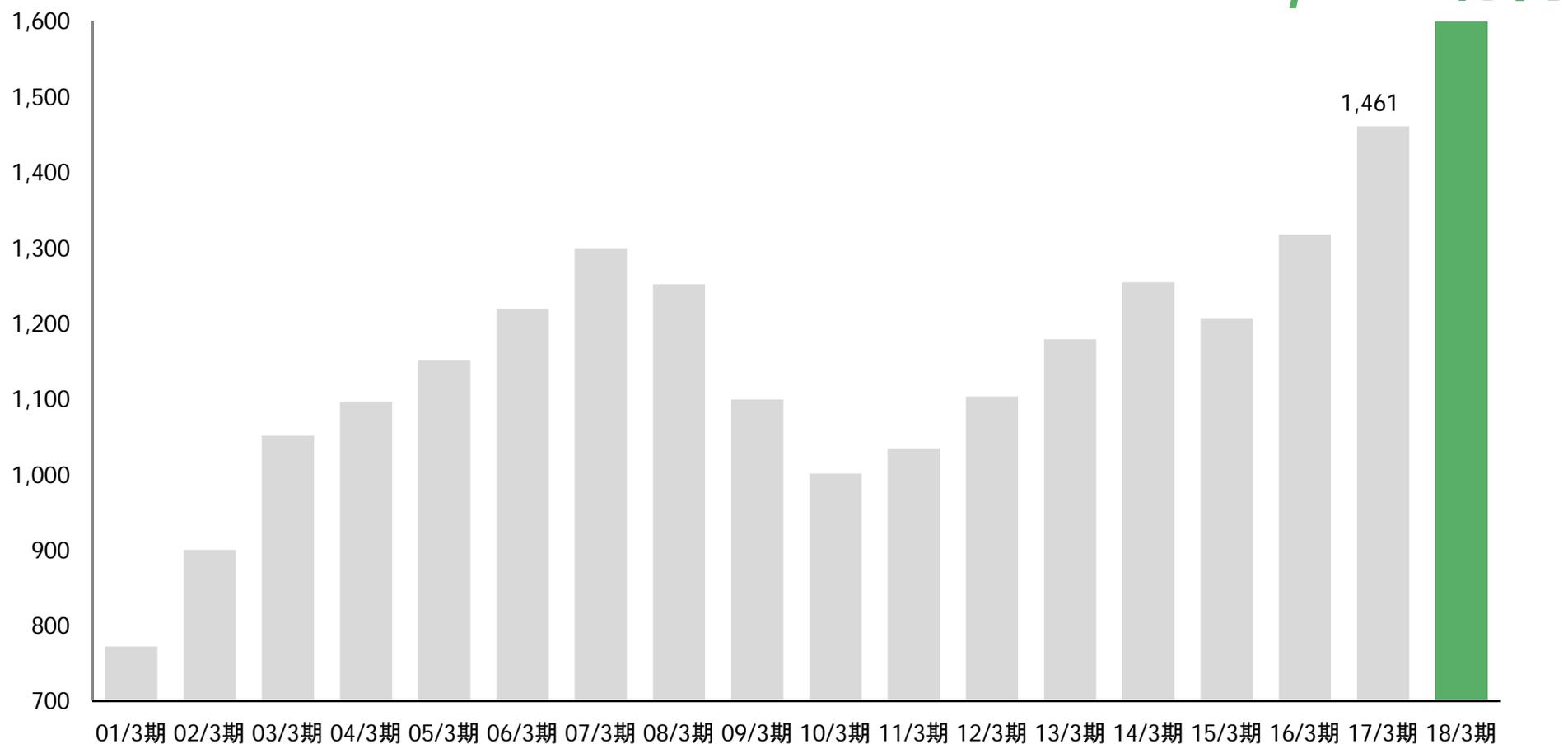
BELLUNA

### 第三次経営計画

2019/3 売上 1,600億円、営業利益 160億円、ROE 8%以上確保

# 一期前倒しでの売上げ目標達成を目指す

### 売上高の推移（億円）



# 主力4事業の拡大

1. **総合通販事業**の安定的な成長
2. **専門通販事業**の拡大
3. **店舗販売事業**の拡大と収益改善
4. ポートフォリオの成熟に向けた**プロパティ事業**  
の強化

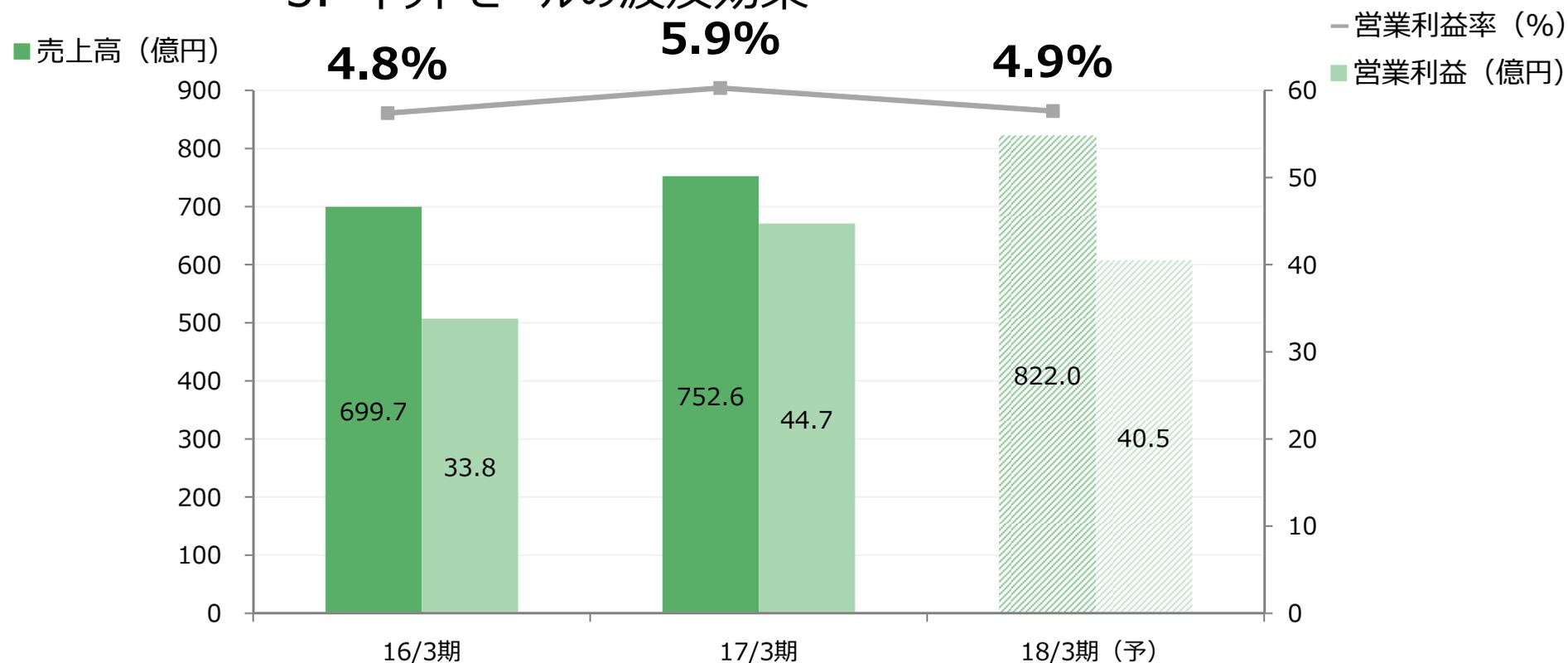


## 2-1. 総合通販事業

### (1) 総合通販事業の状況

収益性を高める取り組みを行いながら成長のための土壌づくりを進めてきた。ネットを中心に更なる成長性向上を図る

1. ネットの強化
2. カタログ、ネット、店舗のシナジー効果
3. ネットセールスの波及効果



## 2-1. 総合通販事業

BELLUNA

### (2) 総合通販事業の成長性

#### ネットの強化

**CVRの改善**  
(受注転換率)

- サイトの改善
- 集客の効率改善
- **ネット専用商品の投入**



**集客強化**

- ネットセール
- CM連動
- クーポン

### (2) 総合通販事業の成長性

## ネットの強化 ~ ネット専用商品の拡大

ネット専用商品の売上構成比

16年度実績

6%

17年度目標

12%

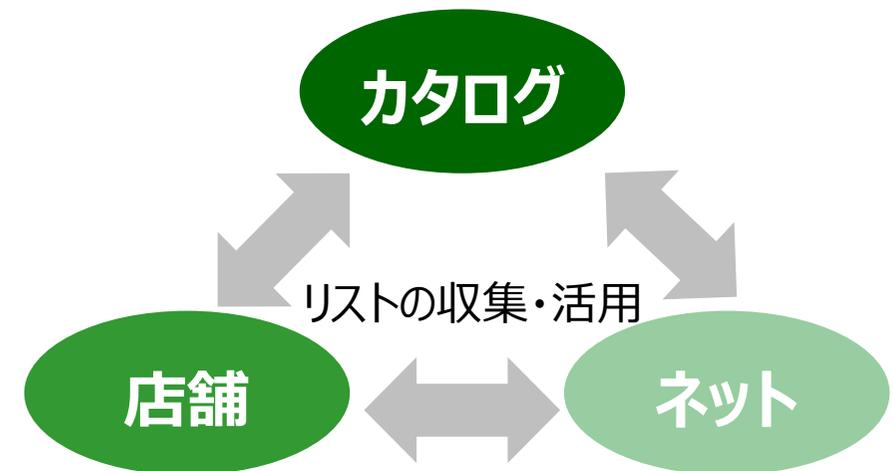
ネット専用商品の大幅な拡充によるCVR改善

### (2) 総合通販事業の成長性

#### カタログ、ネット、店舗のシナジー効果

##### 1. 相乗効果により相互（カタログ、ネット、店舗）に効率改善

- (1) 通販のレスポンス向上
- (2) ネットのCVR向上
- (3) 店舗の増収効果



##### 2. 効果のあるテレビの活用ができる

- (1) 売上が大きくなり（カタログ、ネット、店舗）負担を分散できる

### (2) 総合通販事業の成長性

# ネットセールの波及効果

セールカタログ発行



ネットセール

セールカタログ発行

ネットセールでの商品在庫の機動的な活用により、

- ・新規顧客獲得
- ・処分原価率改善
- ・在庫回転日数

に効果

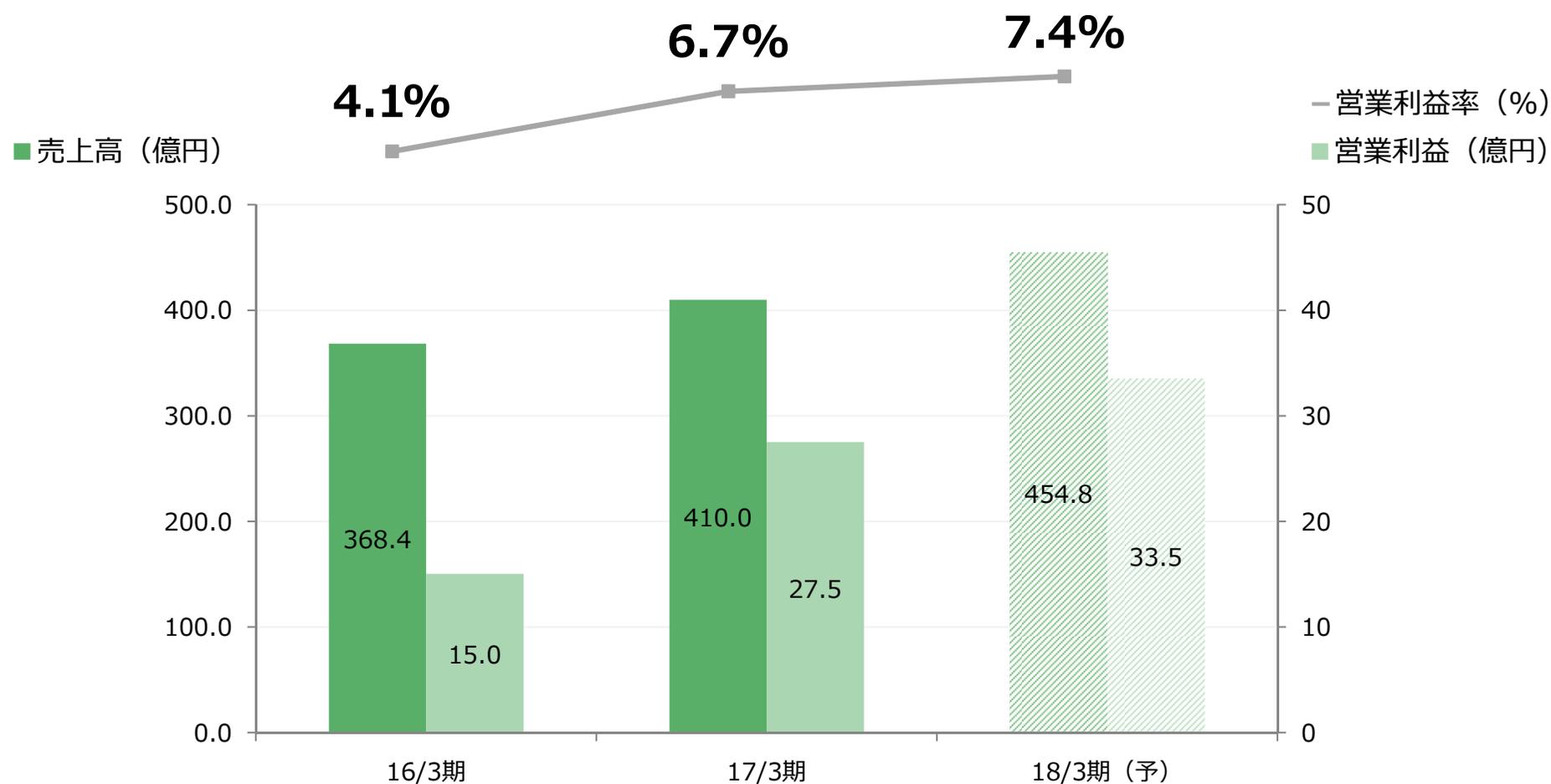


セール画面

## 2-2. 専門通販事業

M&Aによる規模拡大に加えて、既存事業もネット展開や  
新商品開発などを進めて増収基調

今後も収益性を確保しながら成長性を高める



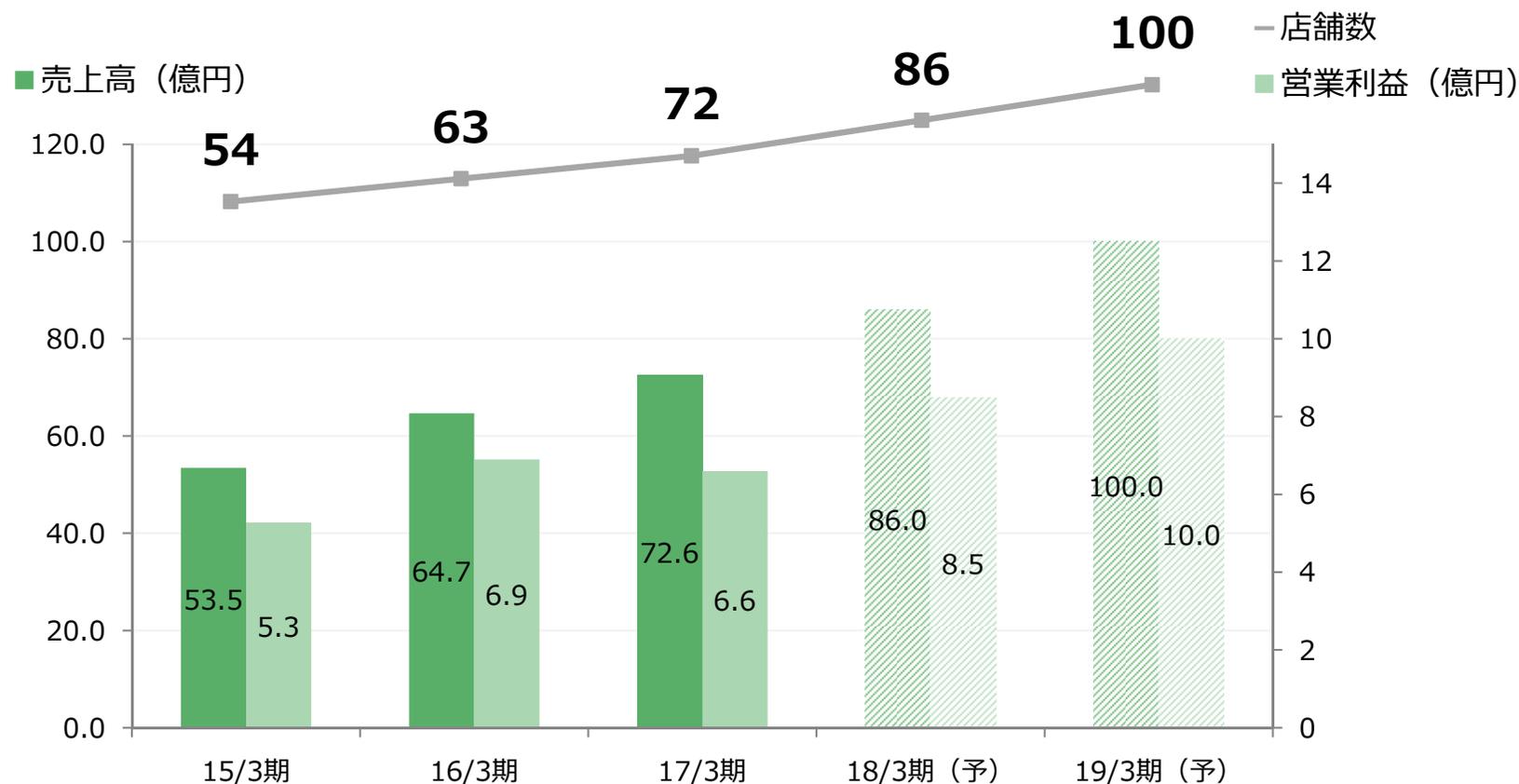
## 2-3. 店舗販売事業：和装店舗

前期、店舗数は計画を上振れて着地

今期も出店ペースを加速するとともに

再び増益基調に

BELLUNA



## 2-3. 店舗販売事業：アパレル店舗

今年度は店舗数拡大よりも収益性を重視  
不採算店の閉鎖と、既存店の収益性強化により  
単年度での黒字化を目指す

BELLUNA

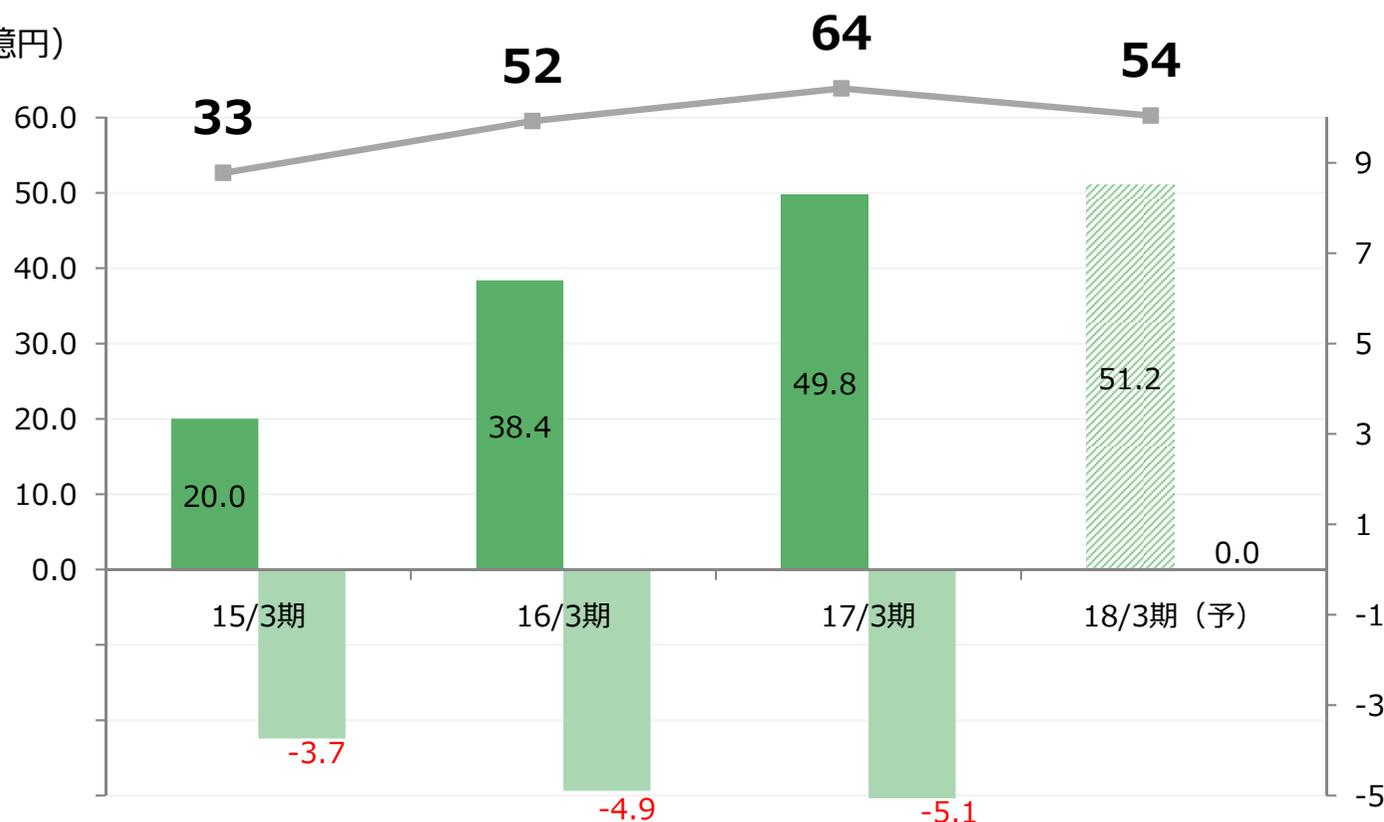


店舗数と売上高の計画

■ 売上高 (億円)

— 店舗数

■ 営業利益 (億円)



## 2-4. プロパティ事業

BELLUNA

ホテル事業では裏磐梯レイクリゾート、ルグラン軽井沢に  
続き7月に京都グランベルを開業予定

[今年度稼働物件]

ホテル事業～ 京都グランベル

(17年7月)

ゴール・ヘリテイジホテル[スリランカ] (18年3～4月)

京都グランベル



ゴール・ヘリテイジホテル



## 2-5. 株主還元

### 安定配当＋株主優待の実施

#### <年間配当>

	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期予
EPS (円)	65.77	36.45	59.68	90.50
配当 (円)	12.5	12.5	12.5	12.5

#### <株主優待>

[内容]

	100株以上	500株以上	1,000株以上
総合通販事業の優待券 またはグルメ・ワイン商品詰め合わせ	1,000円分	3,000円分	5,000円分
裏磐梯レイクリゾート割引券	1枚	2枚	4枚

[対象]

3月末・9月末時点で、当社株式100株以上を保有している株主様（年2回）



第三次経営計画二年目。

最終年度での計画達成へ向けて

売上は前倒し達成すると共に収益

の基盤作りもしっかり行っていく。

# 3. 参考資料

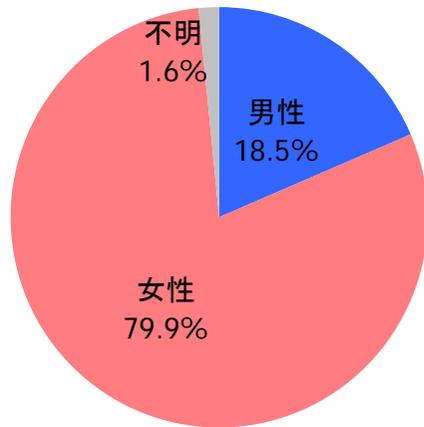
---

*BELLUNA*

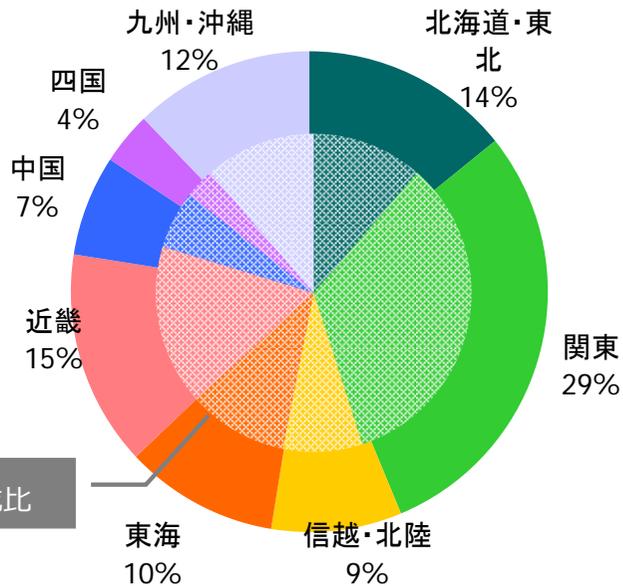
# 【総合通販】登録会員の特徴

## 登録会員の特徴（2017年3月末時点）

### <性別>

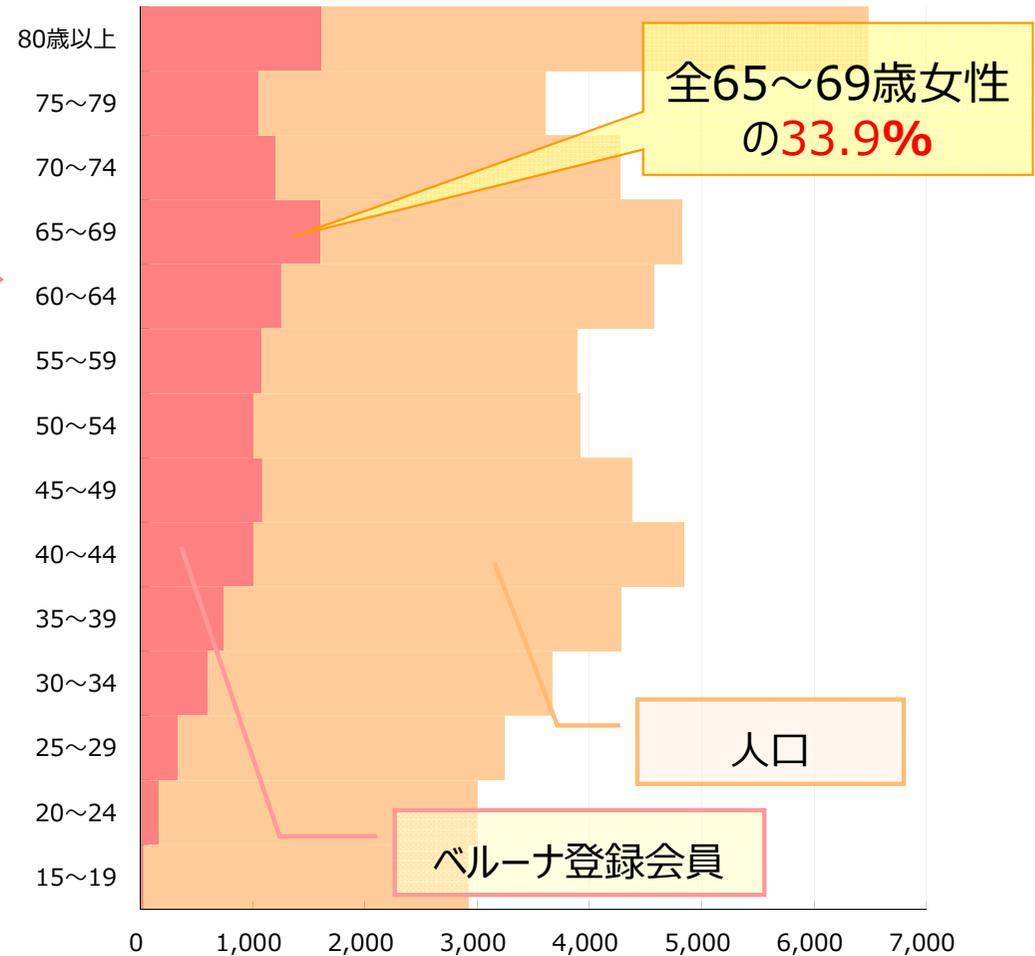


### <地域>



### <人口ピラミッドとの比較（女性のみ）>

単位：千人



地域別の人口構成比

※総務省統計局データを元にベルーナにて作成

# 第三次経営計画（セグメント別）

BELLUNA

単位：億円

	第二次経営計画			第三次経営計画		
	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
	実績	実績	実績	実績	予想	計画
総合通販	753.9	692.1	699.7	752.6	822.0	800.0
専門通販	272.7	320.3	368.4	410.0	454.8	435.5
店舗事業	61.2	73.5	103.1	146.2	161.2	178.0
ファイナンス事業	38.8	26.2	45.8	30.9	34.7	35.0
プロパティ事業	55.5	21.6	28.5	36.3	52.5	92.0
ソリューション事業	46.4	47.1	44.2	54.3	58.2	56.0
その他	30.1	30.9	33.0	36.7	42.1	48.5
調整	-4.5	-4.9	-5.3	-6.2	-25.5	-45.0
<b>合計</b>	<b>1,254.1</b>	<b>1,206.9</b>	<b>1,317.4</b>	<b>1,460.8</b>	<b>1,600.0</b>	<b>1,600.0</b>
総合通販	15.8	24.2	33.8	44.7	40.5	48.0
専門通販	15.4	12.3	15.0	27.5	33.5	36.0
店舗事業	2.5	1.6	2.0	4.9	9.3	11.0
ファイナンス事業	10.7	9.9	19.9	11.8	14.0	15.5
プロパティ事業	16.6	4.8	9.6	0.1	10.8	30.0
ソリューション事業	20.4	15.6	6.5	24.2	24.6	22.5
その他	-2.4	-2.8	-1.3	-1.5	0.6	2.0
調整	-1.1	-1.8	-1.9	-2.9	-3.3	-4.9
<b>合計</b>	<b>78.0</b>	<b>63.8</b>	<b>83.7</b>	<b>108.8</b>	<b>130.0</b>	<b>160.0</b>

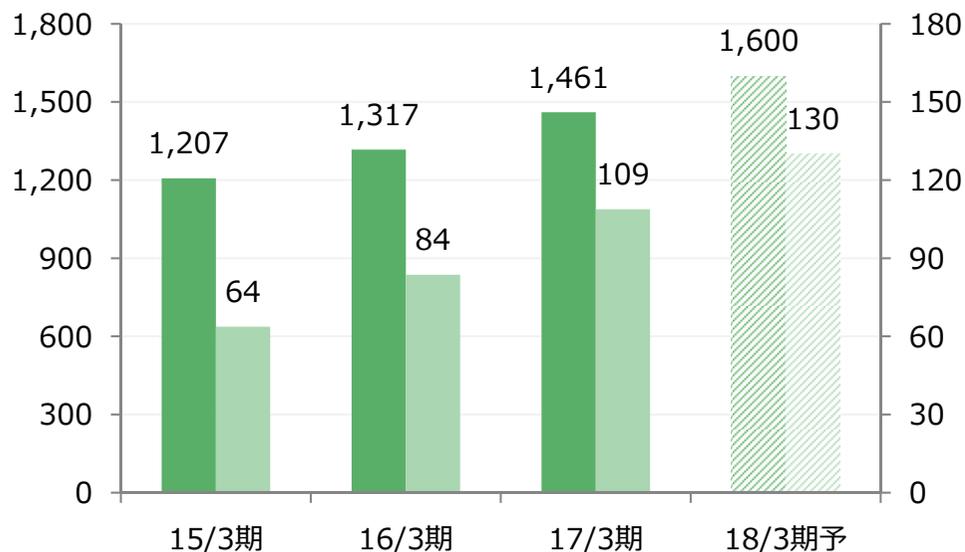
# セグメント別

BELLUNA

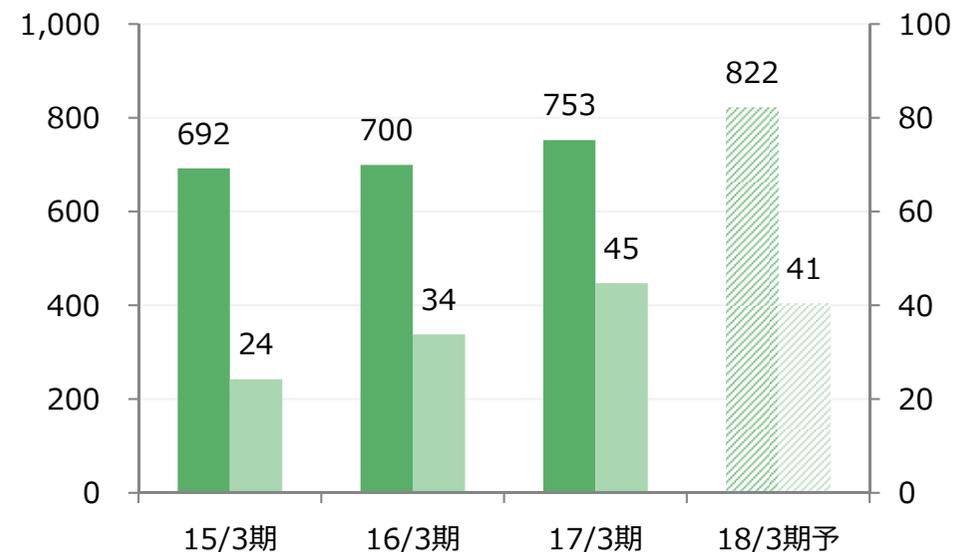
■ 売上高  
■ 営業利益

単位：億円

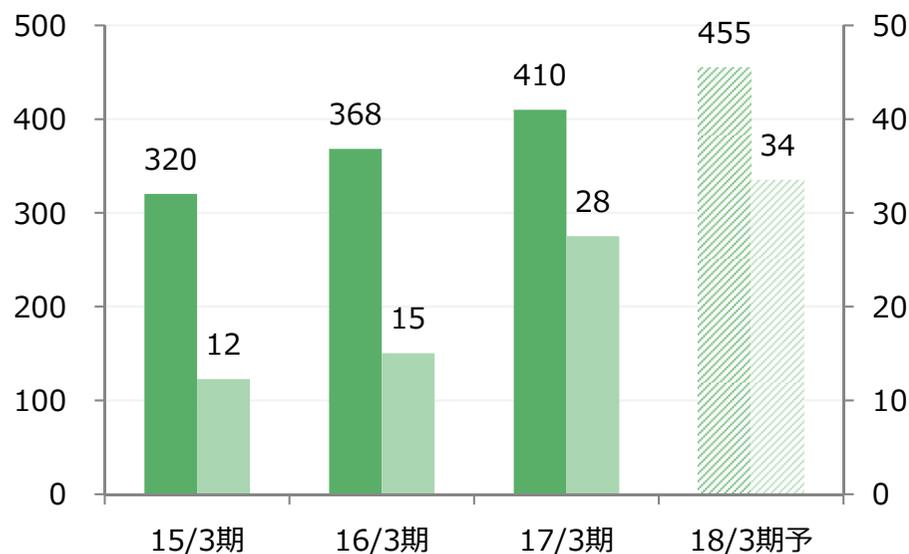
## <連結合計>



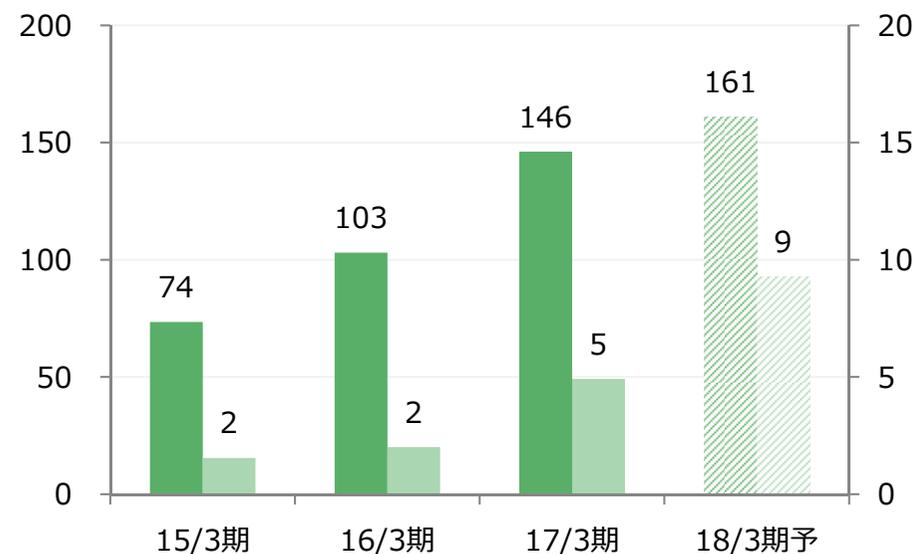
## <総合通販事業>



## <専門通販事業>

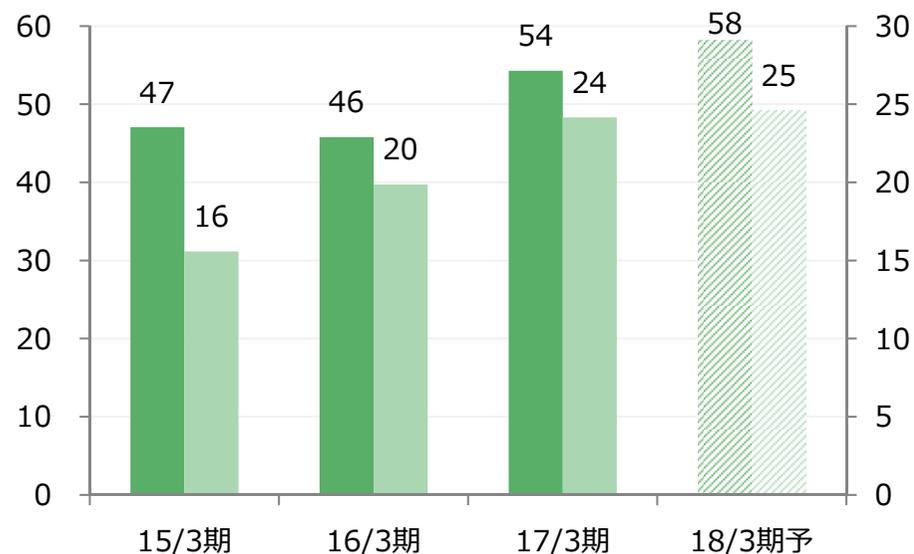


## <店舗販売事業>

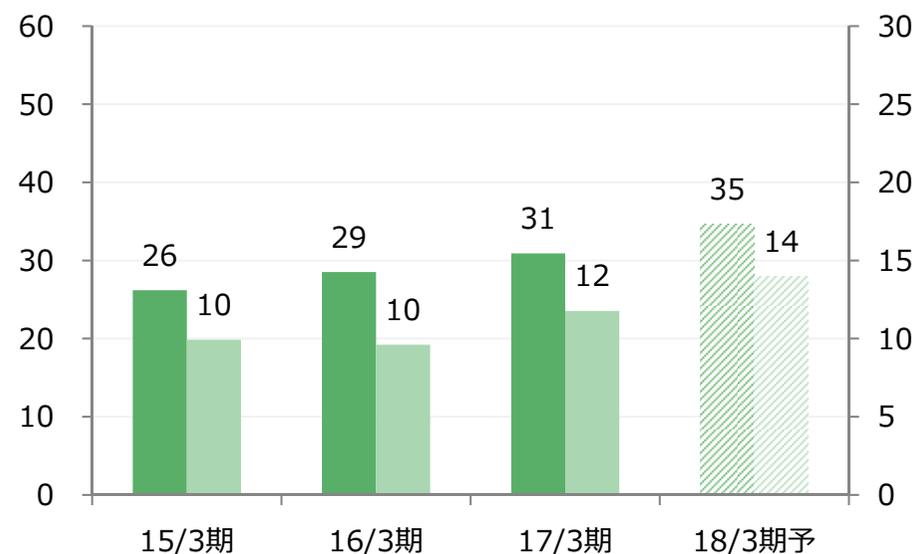


# セグメント別

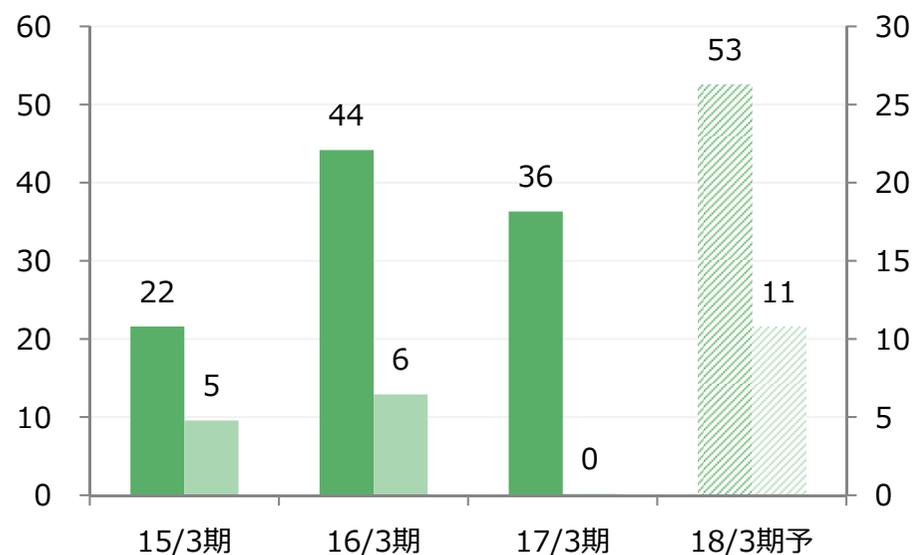
## <ソリューション事業>



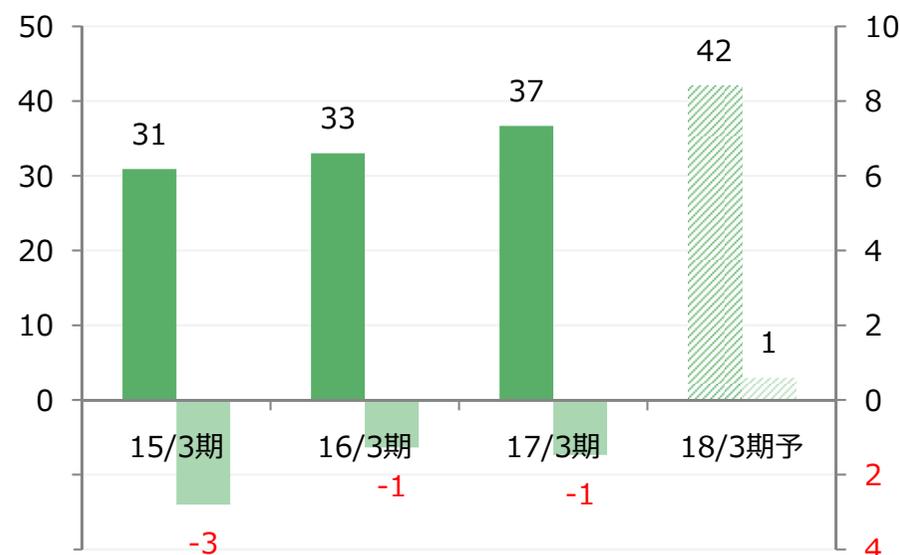
## <ファイナンス事業>



## <プロパティ事業>



## <その他の事業>



## <本資料に関する注意事項>

本資料は、2017年3月期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2017年5月26日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

## <IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当 麻生

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp